

町勢状況
昭和45.2.1現在
世帯数 1,514戸
人口 5,817人
男 2,787人
女 3,030人

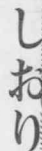
広報たじろ

No. 209

昭和45年
2月号

田代町総務課編集 毎月5日 1650部発行

広報のしおり



立春もすぎ、ようやく春の気配がただよいはじめる
と、雪が急に降りはじめます。
一年中で二月が一番よく「春を待つ鹿」

雪が降るといわれています。暦のうえでは春がきても、まだまだ寒さはきびしく、冷たい北西風が吹きあれます。
冬のおわりのこの二月を「きさらぎ」といいます。衣をさらに着る……という意味から衣更着、きさらぎという呼び名になったといわれます。三日は節分、四年は立春です。

日は立春、この立春から数えて、八十八日めの八十八夜、二百十日めの二百十日など私達農村地帯ではまだまだ仕事の目安になっています。
二月という月は、逃げる月といわれるくらい、日のたつのが早く、あつという間に三月に入ります。子どもがいる家庭では、入学、卒業、就職とまた春を迎える農作業などの準備をそれぞれ手まわしよく片付けましょう。

す、そのわりにモヤシは安くて、しかもビタミンCを豊富に含んでおります。しかし煮すぎると味が落ちますので注意しましょう。
針供養（はりくよう）
八日は針供養の日です、御婦人の方たちが縫針の折れたのを曲つたのを集めてまつる行事です、この日は一日針仕事を休み、お豆腐やコンニャクなどやわらかいものに刺して休めてあげようという女性のやさしい心情を現したもので古く中国から伝えられたといわれています。やわらかいものに針を刺すのは日頃堅いものを縫ってくれているからだといいことでしょう。



田代町 振興大会

二月二十日 十時

田代小学校講堂

みんなこぞって

出会しましょう

昭和四十四年度中の優良小組合、グループなどの表彰式や演芸会、また、農協中央会より近藤俊夫常務をお招きして「今後の田代町の農業の方向」についての講演もごさいいます。ききのがしてはいけません。

二月のこよみと行事予定

3 日	2 日	4 日	5 日	6 日	8 日	10 日	11 日	12 日	14 日	16 日	17 日	18 日	19 日	20 日	21 日	23 日	24 日	25 日	27 日
節分、議決算特別 委員会（二月中）	春分	保護費の支給日	結核検診（脱ろう者 軍恩役員会）	田代校区婦人学級 経済振興審議会	田代小学芸会	婦人会会長会	建国記念日、軍恩総会 民生委員会、栄養教 室（釐公民館）	小組合長会（九、三〇）	川原地区永寿会 妊婦検診十八日まで	大原小会計監査	大原校区婦人学級 新一年生面接日	婦人ガン検診役場で 振興大会	田代校区家庭教育学 級	郡内母子総会（農協 ホール）	釐地区永寿会、定期 種とう二六日まで	社会教育委員会 保育園ゆき会	農業委員会（予定）	国保運営委員会、所 得税申告、大原小家 庭教育学級（中旬 より町民税申告はじ まる予定）	



二十世紀を担う 若者たち

田代町でも一六三名が、大人の仲間入り
本町では一月十五日の成人式を、一足早く一月六日に田代小学校講堂で多数の来賓を迎えて盛大に行なわれました。

集まった成人者は男子四三名、女子四〇名で、本年は仲間も昨年より多く会場は終始はちきれんばかりの若さでいっぱい。

この「はたち」の若者達はどうなるのでしょうか。夢をみているのでしょうか。

当日は終日おだやかな天気に恵まれ、来賓の祝辞に感無量のおもち、成人者一同は「自らの態度に責任をもち立派な社会人となる」ことを誓いました。

続く懇親会で数年ぶりに会った仲間とホークダンスをおどったり、自己紹介などでのしみ散会しました。こうして新しい仲間入りをされた皆さんのために私達先輩はよき友人、よき指導者としてがんばりあつて行きたいと思っています。



- 写真右から下へ
- | | |
|--------|-------|
| 永野 幸造 | 上田 利己 |
| 山元 幸造 | 川路トミ子 |
| 山下 秀三 | 田原ナミ子 |
| 猪鹿倉ツツ子 | 白桃 久則 |
| 松崎 久則 | 川路 洋一 |
| 山川 幹郎 | 槐島ひろ子 |
| 上田 村子 | 内村とし子 |
| 徳永 良一 | 早瀬 正美 |
| 小川よし子 | 雪丸 美利 |
| 宮園 康男 | 田淵より子 |
| 由木田義美 | 柴立登代美 |
| 君村 映子 | 川路 絹子 |
| 岩下 芳文 | 宮原 順一 |
| 石井原正博 | 近川 広美 |
| 平石代美子 | 鶴園いく子 |
| 堀トミ子 | 上元 和子 |
| 湯ノ谷正美 | 瀬戸口良一 |
| 小田 昇 | 岩崎れい子 |
| 岩切 政光 | 浜畑 俊二 |
| 小川 和代 | 前田 正人 |
| 岩崎千津子 | 長岡トキ子 |
| | 小路 洋子 |
- 写真左から下へ
- | | |
|--------|--------|
| 迫 正久 | 瀬ノ口ちよ子 |
| 宮原 正文 | 小梅枝俊郎 |
| 迫 正子 | 坂口ヨシ子 |
| 迫 正子 | 白桃 久則 |
| 上ノ原より子 | 山ノ口民樹 |
| 原沢 勝広 | 毛下りの子 |
| 永田 恵治 | 清水 義明 |
| 木佐貫 貴 | 辺志切イツ子 |
| 貫見かよ子 | 柳田 桃代 |
| 馬込健一郎 | 猪鹿倉忠俊 |
| 瀬口みよ子 | 松崎より子 |
| 井手 博美 | 富尾美千代 |
| 篠原ユウ子 | 富尾 増子 |
| 松山 利子 | 田中 等 |
| | 竹下 良二 |

香典返しを 寄附

猪鹿倉部落の猪鹿倉金之助様は昨年十一月五日、東ノ原部落牧ハエノ様は十二月二九日、橋ノ口部落の野田伊勢熊様は去る一月一日それぞれ死去されましたが、その忌明けに当り御遺族猪鹿倉スギ様より一〇、〇〇〇円、牧栄熊様より一〇、〇〇〇円、野田テル様より一〇、〇〇〇円を田代町社会福祉協議会に香典返しとして御寄附くださいました。

つしんでお悔み申上げると共に厚くお礼を申し上げます。

尚一月号でお礼申上げる予定の馬場部落の上田徹志様の御遺族上田友郎様からの一〇、〇〇〇円のご寄附の記事が落ちておりましたので、本号で改めて御報告とお礼を申し上げます。

がふくそうしますので、還付を受けるための申告書を提出されなくても還付金がお手元に届くのはいぶん遅れることとなります。

そこでできるだけ2月20日ごろまで提出されるようご協力をお願いします。

鹿屋税務署 からの おしらせ

所得税の確定申告をしましよ

2月27日 午前9時から
午後4時まで
役場会議室

還付を受けるための所得税確定申告書の早期提出について

昭和四十四年分の所得税確定申告書の提出時期も近づいてまいりました。

納めすぎている税金の還付を受けるための所得税確定申告書は一月一日以降いつでも提出できることになっております。しかし、二月下旬から一般の確定申告書の提出も多くなり、事務

恒例の消防出初式は、一月十日午前十時田代小学校校庭で行なわれ、県や郡及び他町村から多数の来賓も出席、雪雨の降る中で、威風凛々な分列行進や、迅速機敏なポンプ操法、出初式の花形である放水演習などを行い幕を閉じました。

当日の表彰者次のとおり
鹿兒島県消防協会表彰
芋頭 田代町消防団
功績 副団長有里虎二
優良団員
分団長、田中虎一、副分団長、久法藤夫、中島 薫
二〇年勤続表彰 団員 浜川光雄、宮下勝
県消防協会肝属支部長表彰
彰 一五年勤続表彰
部長 石井幸男、団員 窪園 益山春義、山下信夫
西川勉、麦生田次夫、大園和則、小園哲郎、皆銭逸男
一〇年勤続表彰
団員 宮園猛、上田健次、舞原郁弥、鶴園実
町長表彰
元部長 久保卓、元班長 下和田数美、元団員、上吹越 越、富尾末吉、上ノ原熊次、中村和郎、早瀬正己、上田健次。

田代高校の 県立移管確定

田代高校と南大隅高校の農業科を統合して県立農業高校と新設する案が従来考えられていました。

社会情勢の激変により、農業高校への進学希望は年を追うて減少しており、県においても県下の農業高校は縮減される方向をたどることになり、すでに南大隅高校の農業科も本年度から募集停止となりました。

このような情勢を考慮して、田代高校は本町独自でこれを県立に移管していただき今後の存続充実ははかることにして県当局ならびに県議会に昨年より極力これの実現について陳情懇請を続けてまいりました。

幸にして県当局も県議会もともに我が田代町の立場を理解していただき、今般めでたく県立への移管が決定され、県立南大隅高校田代分校として発足することになりました。

このことは学校の基盤を確立すると共にわが町は勿論のこと隣接の地域まで広く県立高校の教育に恵まれることになり大変よろこばれます。

学校の内容は今までとことなり、全日制普通科に切替えられ一学年二学期、定員九六名となり本年四月から新しい一年生が入学することになります。

尚現在在学中の生徒は県立高校定時制生徒となるのであります。

今年から普通科の課程となりますが、大学進学のみを目的とする普通科でなく選択教科制がしかれ本人の希望で例えば農業、家政、商業などの一教科をえらんで特別学習することになります。



田代高等学校

田代町青年団 三位入賞

一月二五日、青年団主催による郡内駅伝大会(根占ノ東串良間四二、二km)が行なわれました。

郡内で最も少い団員で参加するのが、せいじつばいの田代町の選手は公民館にて合宿、雪雨の降る中でトレーニングを重ねこの日のためにそなえていたが、訓練の成果は根占と二位を争いながら堂々三位に入賞しました。



消防出初式

「苦勞さん
山下 信さん
長い間

昭和三十三年四月役場総務課に勤務していただいて約十二年間、最近税務課で働いてもらっていましたが、このたび一身上の都合で退職されることになりました。長い間ご苦勞さんでした。

税務課からのお知らせ

土地の評価替に伴う固定資産課税台帳の縦覧を 行ないます。

昭和四十五年度を基準年度とする土地の評価替を土地台帳に基づいて一筆ごとに現地を調査の上各人ごとの固定資産課税台帳を作成いたしました。

この台帳は土地台帳に基づいて作成したものですので売買等により所有者が移動していても、未登記のため台帳修正が行なわれてい

ない土地が多々あるものと思われ、下の日割により課税台帳の縦覧を行います。

この台帳が固定資産税の課税の基礎となりますので、固定資産税が課税されてから意義申し立てのないよう従覧には必ずおいでください。

新・固定資産課税台帳の縦覧日割

月日	曜	部 落 名
3月9日	月	下・馬場・東ノ原
3月10日	火	長谷・西中郡・東中郡
3月11日	水	橋ノ口・中村・山下
3月12日	木	岩崎・表木・折小野
3月13日	金	山ノ口・西大原・東大原
3月14日	土	中尾・新田・内之牧・重岳
3月16日	月	鶴戸野・久木野・盤山・富田
3月17日	火	平石・柴立・上柴立
3月18日	水	上原・原沢・池野
3月19日	木	瀬戸口・猪鹿倉・島淵・早瀬
3月20日	金	郷ノ原・辺志切・鶴園・花瀬官行

場所 役場税務課



山林火災 消火応援の お礼

一月十三日正午頃、佐多町洞ヶ原国有林内から出火し、折からの強風にあはられ一時は手のつけられない状況となり田代町の皆さん

には大変ご心配をおかけいたしました、心からおわび申し上げます。

また田代町役場をはじめ消防団の皆様には、いち早く消火作業にかけつけて下さいました、お陰様で被害も最少限にいとめることができました。

ここに紙面をかりまして厚くお礼を申し上げます。

大根占宮林署長

桑野 武 徳

外地引上者の 皆さんに おしらせ

引揚者特別交付金の請求期限が本年三月三十一日までで時効になります。

まだ請求していない人、又は請求権の有無につき疑問のある人達は一応役場民生課に御相談ください。

今後時効の延長はないという事です、三月までに請求しない人は最後の権利を失うことになり、念のためおしらせします。

民生課長



保育所の入所 申請受付

一、対象の子ども

保育に欠ける修学前の幼児

二、申請用紙は役場の受付に準備してございます。記入要領その他くわしくは民生課の係にきいてください。

こんにちはは保健所です

正月あけには、すごい寒波と風邪の大流行で、首をちぢめた寒がりっ子が多くみられました。風邪には安静と休養が大切です。初期なら温い飲食物をとり、早く床について身体を休めるだけでいいのですが、病状が進んでからは、効果がありません。食事はビタミンとカロリーに富んだ消化のよい、温かいもの、いいわけです。果物や温かい煮物を食べて風邪をふきとばしましょう。

ちよつと暖かい日には犬が日なたぼっこに歩き回っています。「あなたの犬はつないでありますか」鹿兒島県では昭和四十四年十一月より飼犬取締条例が改正され、犬は必ず常時つないでおくように決められております。保健所に「犬が騒いでこまる」と届があります。これではこま

ります。どこの犬かどんなことをしたかまで届けください。保健所から措置命令を出し正しい飼育方を指導します。不用犬は野山に捨てると、その地区民の迷惑になります。保健所までつれてきてください。他人に迷惑をかけず、お互いの生活をよりよくすることが公衆衛生です。お互いに注意し合いましょ。

また進学、就職の季節になりましたが保健所の相談日は左記のとおりです。時間、曜日のまちがいのないように注意してください。

一般相談、毎週、金曜(診断書、成人病の相談日です)。
母子相談 第一、三週目火曜
(赤ちゃんや妊婦さんの健康診断日です) 時間はいつでも午前九時〜十一時まで受付です。

昭和45年年賀はがきお年玉当せん番号表

等級	賞品	組	番 号
1 等	オールチャンセル トランジスタ レ	各組共通	789550 257078
		A 組	713750
2 等	音さ掛時計	各組共通	下5けた 61487
		A 組	下5けた 53461
3 等	フランクシート	各組共通	下4けた 1676
4 等	封筒セット	"	下3けた 348 038
5 等	お年玉切手シート	"	下2けた 76 33 35

賞品引換期間

1月20日〜7月19日

3等以上は当せんしたくじ番号の余白に受取人の署名か、なつ印が必要です。

年賀状で(住所)郵便番号を整理しましょう

田代町の郵便番号 893-24